



第736号  
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階  
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
メール roren@knsu.jp  
ホームページ <http://knsu.jp/>  
全国検数労働組合連合  
書記局

4月27日(木) 13:30~15:30 第9回 検数労連23春闘交渉  
職場の不満の声を受け止め、両協会に対し  
ふたたび再考を求める。



前々回の交渉で有額回答を提示してから今交渉までの間、労組からは度重なる修正回答を求められ、都度、様々な角度から再考してきた。しかしながら、現回答は協会を取り巻く現状の中で諸要求も含め検討に検討を重ねた結果の回答であり、現回答を修正することは困難である。よって、労組においては現回答をもって收拾に向けた判断をお願いした

昨日、中央労働団交が返口願となり一定の日途がついた。  
検数労連23春闘交渉では、前回の交渉で有額回答を提示したが、労組から『要求額との関係では不満』という主張を投げ、再度持ち帰り検討をした。しかしながら、現回答はこれまで説明してきた通り収支状況が悪化している厳しい状況下で詰詰めも含め、判断した回答であり、これ以上の修正回答は困難である。  
労組においては、現回答をもつて收拾に向けた判断をお願いしたい。

日檢協会

前々回の交渉で有額回答を提示してから今交渉までの間、労組からは度重なる修正回答を求め

昨日、中央港湾より一定の日途があり検数労連23春「」の交渉で有額、労組から「要不満」という主張があり帰り検討をし、現回答は「わ

4月27日(木) 第9回検数労連春闘交渉で、組合は両協会から修正案の提示と諸要求の回答を求め、交渉を行いました。



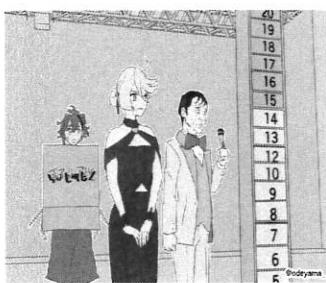
《組合主張》

昨日の中央港湾団交では、労使間で大筋合意に至ったものの、組合は『荷主・コーナーに対する適正料金の收受がきちんと行われているのか』を検証する期間として概ね一ヶ月の休会を宣言している。検数労連としてもこのような経過を受け、現回答をもって判断することは出来ない。いま一度、修正に向けた検討を求める。また、特に強調する部分として、次の点を主張する。

組合は、両協会から修正要求に対する回答と、諸要求部分の回答を受け、休憩を挟み検討した結果、次の通りの主張を行いました。再度「ゴールデンウィーク明けまで、修正回答に向けて再考するよう両協会に求めました。

次回交渉5月9日（火）13：30～

# 第10回検数労連 23春闘交渉。 もう一押し がんばろう！



『西協会に對して』